

十和小学校グランドデザイン

【児童の実態(課題)】
○確かな学力・表現力・伝え合う力
○不登校 ○生活習慣(メディア)

【学校経営理念】
○組織的・協働的に実践する学校
○創造的・先進的に躍動する学校

【めざす学校像】
○児童の瞳が輝き、保護者や地域の信頼に組織として応える学校

【めざす児童像】・元気いっぱい最後までやりきることができる ・かしこく、力いっぱいたくましく活動できる ・やさしさいっぱい助け合えることができる

【教育目標】「心豊かで、たくましく、自ら学ぶ児童の育成」

確かな学力(知)

【到達目標】

- ① 全国学力等調査・県学力等調査・標準学力調査:全国平均+3P以上
- ② 市販単元テスト:各教科平均85%以上
- ③ 各種アンケートの学習意欲面の全観点:肯定的回答85%以上
※「授業がよくわかる」:肯定的評価85%以上
- ④ 年間読書目標達成:90%以上

健やかな体(体)

【到達目標】

- ① 全国体力・運動能力調査、全校が取り組む体力テスト:全8領域のうち4領域以上、全国平均以上
- ② 「高知のこども体力・運動の能力向上プログラム」の授業での活用:肯定的回答85%以上
- ③ 「外遊びが好き」「運動することが好き」:肯定的回答児童90%以上
- ④ 「すこやかウィーク」で、起床・就寝目標時刻達成率:90%以上、ノーゲーム達成児童:90%以上

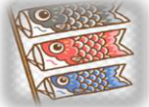
豊かな心(徳)

【到達目標】

- ① 学校評価アンケート「学校が楽しい」「あいさつがよくできる」:肯定的回答85%以上
- ② 道徳調査:自己肯定率90%、「伝え合い自己の生き方を考える」項目:肯定的回答率85%
- ③ 『家庭で取り組む高知の道徳』を用いた道徳教育の推進(道徳調査該当項目):肯定的評価75%
- ③ Q-U調査・学校評価等:学校や学級の生活満足度95%以上、要支援群0%
- ④ 配慮を要する児童や家庭への支援策に係る校内支援委員会及び支援会(SCやSSW等関係機関と共に開催):月1回程度

3つの言葉

- 元気なあいさつ
- なかまと協力
- 進んでチャレンジ



基盤となる体制等

【到達目標】及び取組内容

- ◇いじめ防止基本方針の見直し、生徒指導の目的及び実践上の4視点を意識した学習指導・生徒指導の工夫改善【新たな不登校による年間30日以上欠席者0】
- ◇UDの視点を生かした環境と授業づくり【UDチェックリスト・各アンケート肯定的評価85%以上】
- ◇防災・安全教育及び安全管理に係る諸計画【安全プログラムの活用した授業実践(年間5時間以上)、避難訓練の実施年間5回以上】
- ◇保小・小中連携の推進【全教員が2回以上の保小連携交流参加】
- ◇目標超勤時間の設定・週1回の定時退校日の設定・協議・事務・準備等時間短縮に係る工夫【時間外勤務時間が月45時間以内・年360時間以内の職員割合90%以上】

【研究主題】『主体的・対話的で深い学びを実現する算数科の授業づくり』

—主体的・対話的な学びから深い学びにつなげる授業展開の工夫を通して—

【取組内容】

- ・児童が解いてみたいと思える場面設定や教材の工夫
- ・「十和小授業スタンダード」「学習リーダー」を活用した児童が主体の授業づくりの推進
- ・ICTを活用した学び方の推進
- ・個別最適・協働的な学びの体系的な充実に向けた授業づくりの推進
- ・主体的を育む特別活動の実践
- ・読書活動の充実

【取組内容】

- ・「体力アップ75プログラム」「こどものこども体力…プログラム」等を活用した授業改善
- ・多様性・柔軟性・巧緻性等の向上に資する授業・体育的活動の工夫改善
- ・朝マラソン、なかよし集会の工夫改善
- ・「すこやかウィーク」を活用した生活習慣定着に資する情報発信や生徒指導の推進

【取組内容】

- ・道徳の授業公開(年1回)、学校・学級発「高知の道徳」を用いた情報発信(学期1回程度他、家庭と連動した道徳教育の推進)
- ・道徳調査・授業評価を活用した授業改善
- ・Q-U調査や生活(いじめ)アンケート等を活用した生徒指導や学級経営の工夫改善
- ・月1回の校内支援委員会・校内支援会の実施

不祥事防止等

【到達目標】及び取組内容

- ◇服務に関する研修や不祥事防止の研修等の実施【月1回程度※管理職だけでなく、生徒指導担当、教務主任等の校内不祥事防止委員会のメンバーが主で行う】
- ◇学校評価アンケート等【不祥事防止に関する項目(肯定的評価100%)】